

校内別室指導支援員配置事業及び高井戸チャレンジクラス（TCC）の実施状況について

令和6年度より開始した、校内別室指導支援員配置事業及び高井戸チャレンジクラスの実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 校内別室指導支援員配置事業

（1）事業概要

学校内の教室以外であれば登校できる児童・生徒のための校内別室について、各学校での運営への助言や、校内別室で児童・生徒に対する見守り等を行うボランティアに関する予算上の支援を行う。東京都の補助金の対象校となった学校については補助金を活用し実施している。

（2）利用実績（令和6年度2学期末時点）

利用実数：435名（小学校283名 中学校152名）

一日あたりの利用者：0～1名 30% 2～4名 64% 5名以上 6%

（3）成果

①校内別室に通室していた児童・生徒のうち、学級に復帰できた人数

小学校 86人 中学校 10人

②学校からの意見等（上位より）

- ・学校に馴染みにくい児童・生徒の居場所となっている。
- ・登校できるようになった。
- ・学校と通室児童生徒、保護者との関わりが増えた。

（4）課題

学校からの意見等（上位より）

- ・ボランティア等の支援者の確保（34%の学校が確保できていない）
- ・教室や部屋の確保
- ・担当する教職員の負担

（5）今後の取組

学校からのアンケートでも、支援にあたる人員の確保を課題とする意見が挙げられているが、ボランティアの確保については、教育相談担当でボランティアの募集、登録を行い、ボランティアが集まらない学校に対して紹介する等の支援を行う予定である。

2 高井戸チャレンジクラス

(1) 事業概要

高井戸中学校に設置した、不登校生徒の実態に配慮した教育の実施を目的とする学級

(2) 在籍状況（1月15日現在）

- ・1年生4名 2年生2名 3年生2名 計8名在籍

(3) 入級希望状況（1月15日現在）

- ・見学者数 8名（1年生1名 2年生2名 小学6年生5名）
- ・体験入級者数 5名（1年生1名 小学6年生4名）

(4) 今後のスケジュール等

令和7年 3月 入級審査会（現小学6年生）

4月 入級開始（新中学1年生）

※現中学1～2年生は令和7年1月より区立中学校全生徒に対象を拡大した。

(5) 成果

- ・生徒一人ひとりの実態を適切に把握した上で指導・支援にあたることで、登校できる生徒が増加した。
- ・生徒に寄り添った指導・支援により、生徒が目標とする進路決定につながった。

(6) 課題

- ・チャレンジクラスに入級したが、継続した登校につなげていない生徒への支援方法
- ・個別対応が多く、教員の負担の増加

(7) 今後の取組

チャレンジクラスについては、都の不登校施策として、令和6年度より都内10校に配置された。杉並区では高井戸中学校内に学級を設置し、正規教員を配置し、生徒一人一人の状況に応じた柔軟な学びの実現を図ってきた。都教委の方針により、令和7年度より4か年、生徒の実態に配慮した支援を行うための教育課程について研究開発することを目的として、都内全てのチャレンジクラスが、文部科学省の研究開発学校の指定を受ける予定である。